

# 令和4年度教育事業 ボランティア養成研修

- 1 趣 旨 青少年教育施設の役割を理解するとともに、野外活動等の指導・支援ができるボランティア及び指導者の養成・確保を図る。
- 2 期 日 令和4年6月4日（土）～5日（日）1泊2日
- 3 対象者 高校生・大学生（短大・専門学校生を含む）・一般
- 4 募集定員 40人程度
- 5 参加者 40人（高校生30人、大学生9人、社会人1人）申込者41人
- 6 指導者 鹿児島大学総合教育機構共通教育センター准教授 福満 博隆 氏  
垂水消防署員、国立大隅青少年自然の家職員、法人ボランティア2人

## 7 日 程

6月4日（土）	6月5日（日）
9:00 受付	6:00 起床・寝具整理・清掃
9:50 講義1「青少年教育における体験活動」	7:30 朝食
11:30 講義2「青少年教育施設の現状と運営」	9:00 実習2「自然体験活動の安全管理」（普通救命講習Ⅰ）
12:30 昼食	12:10 昼食
13:30 講義3「ボランティア活動の意義」	13:10 講義5「青少年教育施設におけるボランティア活動」
15:10 講義4「熱中症予防対策」	15:10 閉講式・解散
16:00 実習1「自然体験活動の技術」（野外調理）	
20:00 入浴・就寝	

## 8 事業運営上の配慮

- 参加者に対して事前に感染症対策等の協力について呼びかけを行った。
- 講義5では、質疑応答の時間を多く設けて、参加者が自発的・積極的に発言できるよう配慮した。

## 9 参加者の感想

- 高校生から社会人まで普段関わることの少ない年代の方々と関わることができ、うれしかった。
- みんな明るくてできないことがあっても前向きになれた。
- いい思い出ができました。友だち0からだったが、たくさんできてうれしかった。

## 10 成果

- コロナ禍ではあったが、キャンセル者や体調不良者を出さず滞りなく事業を実施できた。
- 事業終了後、2週間でボランティアの登録者として、27名程登録があった。

